

平成28年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	小林 貴彦
	全体計画			経費区分	経常的経費	内線	3535
事務事業名	4241 市営住宅管理事業						
所 属	200200 まちづくり推進部・まちづくり課						
施 策	06033400 安心して快適な住環境の推進						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	080501 土木費・住宅費・住宅管理費					
	事業	020000 市営住宅管理事業					
事業目的				事業概要・効果			
<ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅の維持管理 				<ul style="list-style-type: none"> ・住宅に困窮する低所得者に対して低廉な家賃で住宅を賃貸し、市民生活の安全と社会福祉の増進を図るため、市営住宅の維持管理を行う。 			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> ・明渡し28戸、募集戸数30戸、申込者数44人 ・修繕件数186件 	<ul style="list-style-type: none"> ・明渡し30戸、募集戸数40戸、申込者数60人 ・修繕件数190件
平成29年度 予定	平成30年度 予定
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成27年度 決 算	平成28年度 予 算
事業費		21,013	24,045
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	21,013	18,945
一般財源	0	5,100	
人員数(人)	正規職員	2.1	2.1
	嘱託職員	1.4	1.4
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	15,136.8	15,136.8
	嘱託職員	3,787.0	3,787.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	18,923.8	18,923.8
市民一人当たりの経費	0.8	0.8	
総額	39,936.8	42,968.8	

(単位：千円)

平成27年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	14,098	消耗品、燃料費、印刷製本、光熱水費、修繕料
13節 委託費	4,268	電算委託料、保守点検委託料、シルバー人材センター委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	2,647	報酬、旅費、役務費、使用料及び賃借料、原材料費、公課費

(単位：千円)

平成28年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	12,081	消耗品、燃料費、印刷製本、光熱水費、修繕料
13節 委託費	4,873	電算委託料、保守点検委託料、シルバー人材センター委託料
15節 工事請負費	4,100	市営住宅解体工事
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	2,991	報酬、旅費、役務費、使用料及び賃借料、原材料費、公課費

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	市民生活には必要	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	市民生活には必要	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	収納率向上に努めている	

振り返り（決算年度の取組み課題）

収入未済額を減らす取組みにより、現年度の収納率が上がった。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

住宅困窮者に対する対応を引き続き行う。
収納率の向上を今以上に行う必要がある。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

住宅に困窮する方に対しきめ細かな対応をしていくと
ともに住宅使用料の収納率アップと適切な施設の維持
管理を行っていく

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--